

araid[®] 5000 / T5000



A Non-Stop SATA III RAID Subsystem For 3.5" Hard Drives

- ▶ **User's Manual**
- ▶ **マニュアル**
- ▶ **中文使用手冊**
- ▶ **사용설명서**

 **ACCORDANCE SYSTEMS INC.**



A. araid® 5000 / T5000

日本語取扱説明書目次 V1.4

お買い上げありがとうございます

- ・ ご使用前に本取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。
- ・ 本取扱説明書をいつでも手にできる場所に適切に保管し、必要に応じてご参照ください。
- ・ 本製品の規格および外観は、機能向上のため、予告なしに変更される場合があります。

I. 安全および注意事項	25
1. RAID 0およびRAID 1について	25
2. ご使用上の注意	25
II. 本体および付属品	26
III. 製品について	27
1. 製品の特徴	27
2. 製品の規格	28
3. システム条件	28
4. 各部のはたらき	29
IV. 使用方法	30
1. ハードウェアの取り付け	30
2. 起動および操作 (RAID 1モードにのみ適用)	32
3. ローカルサイトモニタリング	34
4. ネットワーク管理(Linux版はオプションが必要)	34
5. 使用できるハードディスクについて	35
V. ARAID T5000(外付け機種)	36
1. 各部のはたらき	36
2. ARAID T5000外付けモデル	37
VI. ARAID LCDメッセージ対照表 (RAID 1 ユーザー向け)	38
VII. FAQ (RAID 1 ユーザー向け)	40
VIII. 製品保証およびアフターサービス	42
IX. 当社連絡先	43

表・リスト

表1. RAID 0およびRAID 1の比較	25
表2. 本体および付属品	26
表3. ARAID 5000の規格	28
表4. ハードウェア取り付け手順	30
表5. 起動および操作	32
表6. ARAID T5000規格	36
表7. ARAID T5000外付けモデル	37
表8. ARAID LCDメッセージ対照表	38
表9. PQR製品異常報告書	43

図・リスト

図1. ARAID EYE PLUSソフトウェアによるハードディスク品質確認	25
図2. ハードディスク取り付け完了図	26
図3. ARAID 5000前面図	29
図4. ARAID 5000後面図	29
図5. ハードウェア取り付け手順	31
図6. ARAID EYE PLUS	34
図7. ネットワーク管理システム	34
図8. ARAID T5000前面図と後面図	36



I. 安全および注意事項

* 1. RAID 0およびRAID 1について

- (1) RAID 0：2台のハードディスクを使用する場合、容量はハードディスク2台分ですが、耐障害性がなく、データが1度破壊されると回復できません。
 - (2) RAID 1：2台のハードディスクを使用する場合、容量はハードディスク1台分ですが、耐障害性があり、どちらか1台のハードディスクが壊れても、もう1台のハードディスクは引き続き使用できます。
- ◎ RAID 0およびRAID 1の比較（8TBのハードディスク2台を使用した場合）

RAIDレベル	使用可能容量	ハードディスク耐障害性
0	16TB	なし
1	8TB	あり

表1. RAID 0およびRAID 1の比較

* 2. ご使用上の注意

- (1) 本製品をご使用になる際は、同一モデルの未使用のハードディスク（同一ブランド、同一型番、同一容量、同一製造地、同一ファームウェアバージョン）をご使用ください。CD-ROM内のARAID EYE PLUSソフトウェアを使用し、ハードディスクの品質を確認できます。未使用の同一ハードディスクをできるだけ多く予備として準備しておくことをお勧めします。同一ハードディスクを入手できない場合は、同一ブランドの容量がより大きなハードディスクをご利用ください。



図1. ARAID EYE PLUSソフトウェアによるハードディスク品質確認

- (2) 本機をご使用になる際、ハードディスクに対し、あらかじめFDISKおよびFORMATなどの手順を行う必要はありません。直接自動再構築機能を使ってハードディスクのバックアップを実行できます。
- (3) 製品を円滑にお使いいただくため、ご使用になる前に必ず電源ユニットが良好で安定していることをご確認ください。
- (4) ARAIDから煙や異臭が発生した場合は、直ちに電源をお切りください。
- (5) ARAIDを不安定な場所に置かないでください。
- (6) RAID 0をご使用になる場合は絶対にスイッチをSingleの位置に切り替えないでください。この動作を行うと、ハードディスク内のシステムおよびデータが永久に失われる恐れがあります。

II. 本体および付属品

(1) 箱の中のものを確認してください。不足や破損がある場合、すぐに代理店または販売店にご連絡ください。

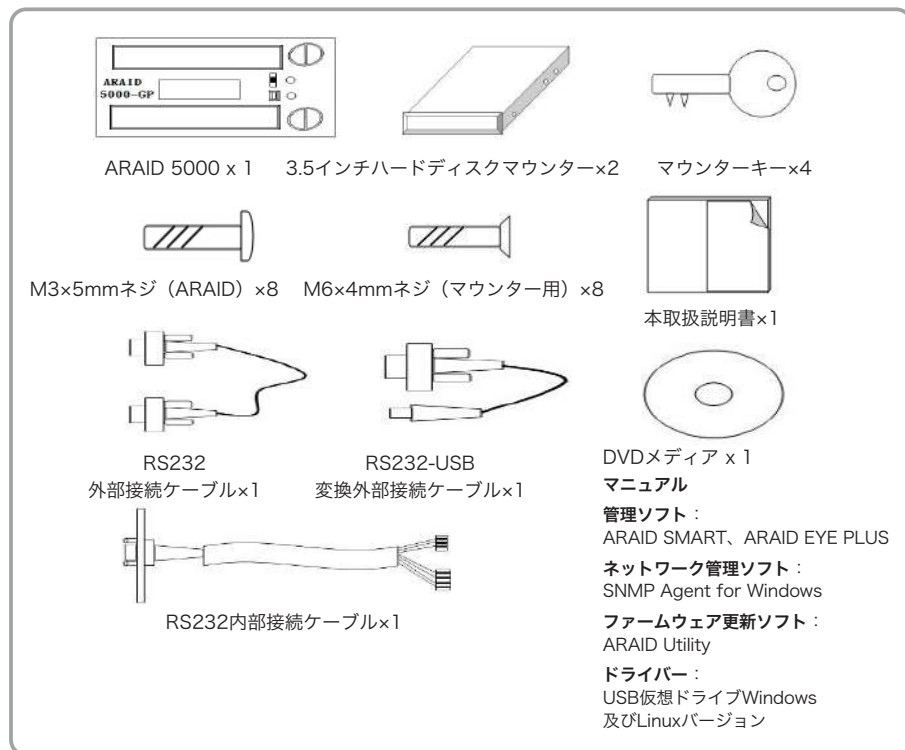


表2.本体および付属品

(2) 3.5インチハードディスク取り付け完了図



ARAID 5000に装着。ハードディスクをマウンター前面にしっかり固定する



ARAID 3500に装着。ハードディスクをマウンター後面にしっかり固定する

図2. ハードディスク取り付け完了図



Ⅲ. 製品について

* 1. 製品の特徴

※ 安全性：

- (1) RAID 1モードに設定すると、2台のハードディスクの内容が常に同期。
- (2) 6cm静音冷却ファンを装備。
- (3) ハードディスクを安全にロックするキーを装備。
- (4) ハードディスク2台取り付け時にシングルディスクモードで運用すれば、パソコン本体内に1台オフラインでハードディスクを保護することができ、ウイルスなどからのシステムの保護が可能。

※ 利便性：

- (1) RAID 0モード設定時、ディスク高速転送が可能。
- (2) ドライバーをインストールする必要がなく、ほとんどのOSをサポート。
- (3) 直接PCのSATAポートに接続するだけでよく、拡張カードが不要。
- (4) AHCI modeおよびS.M.A.R.T.をサポート。
- (5) 有名メーカーのハードディスクがほぼ使用可能。
- (6) 障害発生時のハードディスクのホットスワップ(Hot-Swap)およびホットプラグ(Hot-Plug in)ハードディスクの自動再構築をサポート。

※ マンマシンインターフェース：

- (1) LCDによるシステム、ハードディスク、ファン、温度などのステータスを表示。
- (2) LEDによるハードディスク転送状態の表示。
- (3) ハードディスクの故障、ファン、温度の異常などをブザーで警告。

※ コントロールインターフェース：

- (1) COMポートまたはUSB接続を通じ、COMポートまたはUSB-RS-232ポートとの専用通信プロトコルを提供。
- (2) 標準的なネットワーク管理をサポートするSNMP機能を提供可能。

*** 2. 製品の規格**

外形寸法	奥行195mm/幅146mm/高さ86mm
重量（ハードディスクを含まない）	約0.7kg
温度	動作温度：0℃～65℃
	周囲温度：-20℃～70℃
電源条件	+5V、+12V
消費電力（ハードディスクを含まず）	約2.84W

表3. ARAID 5000の規格

*** 3. システム条件**

- (1) パソコンインターフェース：性能を最大限に発揮させるため、SATA III (6Gbps)スロットの使用をお勧めします。
- (2) ハードディスクインターフェース：性能を最大限に発揮させるため、SATA III (6Gbps)ハードディスクの使用をお勧めします。
- (3) サポートするOS(ドライバー必要なし): Windows（XPは現在AHCI modeのみ）、Linux、SCO UNIX、FreeBSD、Solaris、MAC OS、QNX など。*OS側でS-ATAをサポートしている必要があります。



* 4. 各部のはたらき

1. 前面図

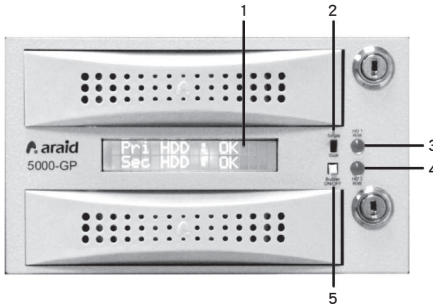


図3. ARAID 5000前面図

1. 液晶ディスプレイ：
動作の状態、ハードディスクの状態、ファン、温度などの情報を表示します。
2. モード選択スイッチ(Single/Dual)：
SingleまたはDualモードを選択します。
3. PrimaryハードディスクLED
(HD1 R/W)：
Primaryのハードディスクがデータを読み込みまたは書き込み中に、このLEDが点滅します。
4. SecondaryハードディスクLED
(HD2 R/W)：
Secondaryのスロットのハードディスクがデータを読み込みまたは書き込み中に、このLEDが点滅します。
5. ブザースイッチ(Buzzer On/Off)：
スイッチを押すとブザーを切れます。再度押すとブザーが起動します。

2. 後面図とJumper設定について

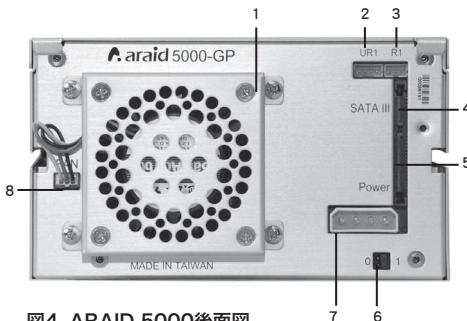


図4. ARAID 5000後面図

1. 6cm静音冷却ファン。
2. UR1：
RS232ポート(For USB)。
3. R1：
RS232ポート(For Com Port)。
4. SATA III コネクター：
パソコンのSATA III ケーブルを接続します。
5. 電源コネクター(SATA)：
パソコンのSATA電源ケーブルを接続します。
6. Jumper機能設定：

Mode	0	1
RAID 0	Close	Open
RAID 1	Open	Close

7. 電源コネクタ
(4-pin power connector)：
パソコンの4-pin power connector電源ケーブルを接続します。
8. ファン電源コネクター

IV. 使用方法

* 1. ハードウェアの取り付け

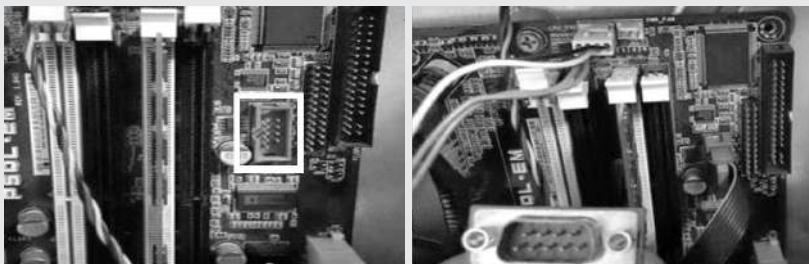
(1) パソコンをシャットダウンします。

(2) RS-232ポートで接続する場合：

3 pin RS232内部接続ケーブルをARAID 5000のR1に接続します。次にRS232内部接続ケーブルのCOM Portコネクタをパソコンケースの後部に固定し、RS232外部接続ケーブルでパソコンのCOM PortとARAID COM Portを接続します。



注意：パソコンのCOM Portがマザーボード上にのみピンヘッダーで搭載されている場合、別途マザーボードメーカーより外部へ引き出すフラットケーブルを購入して接続してください。



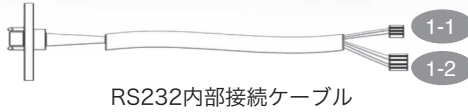
(3) USBポート経由のUSB-RS-232で接続する場合

(2の取り付けが完了している場合、この手順を飛ばします)：

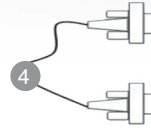
1. パソコンにRS-232ポートがない場合、4 pin RS232内部接続ケーブルをARAID 5000のUR1に接続します。次にRS232内部接続ケーブルのCOM Portコネクタをパソコンケースの後部に固定し、付属のRS232-USB変換外部接続ケーブルを使ってパソコンのUSB PortとARAID COM Portを接続します。
2. CD-ROM内のWindows/Linuxドライバーをインストールすると、USBポートによるUSB-RS-232機能を使用できます。(通常設定はCOM3以後)。

(4) 付属のネジでARAID 5000を固定し、電源ケーブルとケーブルを接続し、パソコンカバーを取り付けます。

表4. ハードウェア取り付け手順



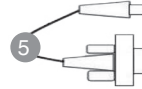
RS232内部接続ケーブル



RS232外部接続ケーブル



SATAケーブル (ご自身でご用意ください)



RS232-USB変換外部接続ケーブル

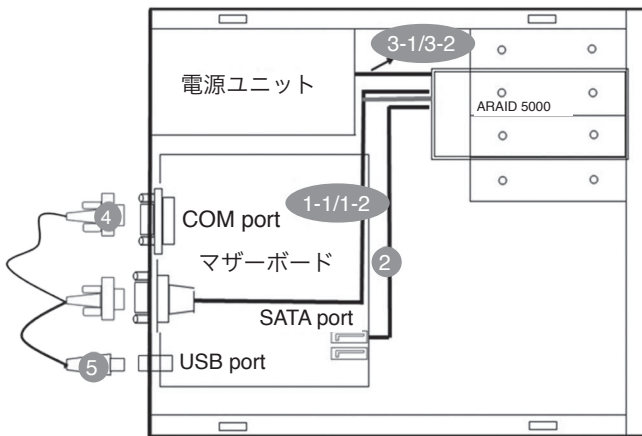
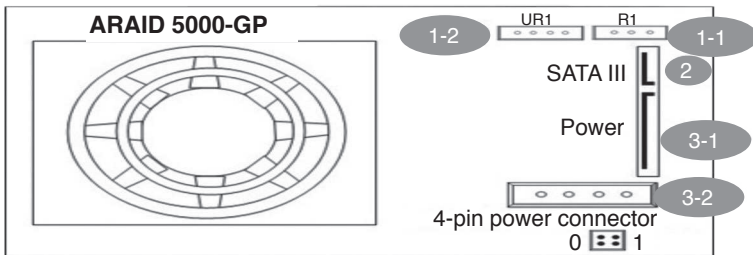




図5. ハードウェア取り付け手順

*** 2. 起動および操作 (RAID 1モードにのみ適用)**

スイッチ	ハードディスク	ARAIID 5000
Single	1台	<p>上のスロットにのみハードディスクが取り付けられている場合、Primaryのハードディスクのみでデータ転送ができます。</p> 
		<p>下のスロットにのみハードディスクが取り付けられている場合、起動できません。</p> 
	2台	<p>上下両方のスロットにハードディスクが取り付けられていても、上のスロットのハードディスクしかデータ転送できません。OFFの表示のある、下のスロットのハードディスクの電源は入っていません。</p> 
Single→Dual	2台	<p>上下のスロットにハードディスクが取り付けられている状態でパネルのスイッチをDualモードに切り替えると、自動的にバックアップを行います。</p>  <p>⚠ 警告：ハードディスクの再構築が終了するまで親ディスクを取り出さないでください。システムのフリーズやデータの消失、システムの損傷により、再起動できなくなり、ハードディスクが故障する場合があります。</p>
Dual	1台	<p>1台のハードディスクで使用する場合は、上のスロットまたは下のスロットにどちらに取り付けても起動できますが、ハードディスクを上のスロットに取り付け、“Pri”の位置で使用することを強くお勧めします。</p> 










スイッチ	ハードディスク	ARAID 5000
Dual	2台	<p>ARAIDで使用したことのない未使用のハードディスクを同時に挿入します。</p>  <p>⚠ 注意：RAID 1モードで、スイッチがDualにあるとき、ARAIDで使用したことのない未使用のハードディスク2台を挿入すると、先にハードディスクのパーティション（Partition）とフォーマット（Format）を行い、2台のハードディスクの内容を同期させる必要があります。完了後、システムディスクまたはデータディスクとして使用できます。</p> <p>⚠ 注意：2台のハードディスクを使用する場合、ARAID 5000はPrimaryのハードディスクで起動させるようあらかじめ設定されています。Primaryのハードディスクで起動できない場合に、Secondaryのハードディスクで起動させます。</p>
Dual	2台	<p>再構築のプロセス（上のスロットから下のスロットへ）</p> <p>(1) 上のスロットにハードディスクを挿入して起動させます</p>  <p>(2) Secondaryのハードディスクが挿入されると、再構築が始まります</p>  <p>(3) 再構築の完了</p>  <p>再構築のプロセス（下のスロットから上のスロットへ）：</p> <p>(1) 下のスロットにハードディスクを挿入して起動させます</p>  <p>(2) Secondaryのハードディスクが挿入されると、再構築が始まります</p>  <p>(3) 再構築の完了</p>  <p>⚠ 警告：パネルのスイッチがDualにあり、2台のハードディスクの同期作業が正常に行われている時は、スイッチをSingleに切り替えしないでください。Secondaryのハードディスクの電源が切れてバックアップできなくなり、Primaryのハードディスクでしかデータ転送が行えなくなります。</p>

表5. 起動および操作

* 3. ローカルサイトモニタリング

ARAID EYE PLUSは、ARAIDの管理ツールです。2台のハードディスクの状態（不良セクター）や、リアルタイムのARAIDの温度などの状態を確認することができます。その他、エラー警告が発生した場合、電子メールでユーザーに通知することができます。



図6. ARAID EYE PLUS

* 4. ネットワーク管理(Linux版はオプションソフトウェアの購入が必要)

SNMP Agentは企業向けの管理に最適なMIB、MIB II、Trapを提供し、Windows 2000/Server 2003/XP Pro/Win7、Redhat/SUSE Linuxにおいて実行できます。これにより中・大規模のネットワーク管理者が、数十から千のARAIDハードディスクアレイを管理できます。HP OpenView、IBM NetView、OpManagerなどのネットワーク管理ソフトウェア上で集中管理して、すべてのアレイのハードディスク、ファン、温度状態をいつでも把握できます。



図7. ネットワーク管理システム



* 5. 使用できるハードディスクについて

ハードディスクがRAIDで使用できるかお調べになる場合、当社ウェブサイトにて確認してください。

(http://www.accordance.com.tw/web_search2/cus/index.php)

※ デスクトップ版のハードディスクとの互換性：

◎ Accordance Systemsは、お客様にWestern Digital社のHDDをお使いの場合エンタープライズクラスのHDDまたはその他シリーズ(Caviarシリーズ- ブルーレーベル、グリーンレーベル、ブラックレーベルを除く)のハードディスクをご使用になることをお勧めします。

◎ WD公式ウェブサイトにおいて、Caviarシリーズを購入する場合、RAID環境での組み合わせ使用を避けるように記載されています。

(http://wdc.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/1397)

その他のメーカーのHDDについても、デスクトップ版のHDDでのRAID構築は、HDDメーカーでの動作保証対象外となり、RAID構築時の思わぬ障害の原因となる場合がございます。RAID対応のエンタープライズ・ニアラインなどのHDDのご使用を強くおすすめします。

V. ARAID T5000(外付け機種)

* 1. 各部のはたらき

(1) 外観図



- 1. 電源スイッチ
- 2. インレット (AC110～220V)
- 3. RS232接続ポート (COM Port)

図8. ARAID T5000前面図と後面図

(2) 製品規格

外形寸法	奥行240mm/幅183.2mm/高さ156.15mm
重量 (ハードディスクを含まず)	約2.68kg
電源	63W独立型電源ユニット
消費電力 (ハードディスクを含まず)	約5.14W ～ 7.32W(機種によって異なる)

表6. ARAID T5000規格



* 2. ARAID T5000外付けモデル

インターフェース	ケーブル	説明
		<p>1. SATAフラットケーブルコネクタ</p>

表7. ARAID T5000外付けモデル

VI. ARAID LCDメッセージ対照表

(RAID 1 ユーザー向け)

表示	説明	対処方法
Pri HDD : OK Sec HDD : OK	2台のハードディスクはともに正常です	
Pri HDD : OK Sec HDD : Fail	サブハードディスク(Primary)は正常ですが、Secondaryのハードディスクは故障または異常です	サブハードディスク (Secondary)のを交換してください
Pri HDD : Fail Sec HDD : OK	Secondaryのハードディスクは正常ですが、Primaryのハードディスクは故障または異常です	サブハードディスク (Primary)を交換してください
Pri HDD : Fail Sec HDD : Fail	上下のスロットのハードディスクがともに故障または異常です	2台のハードディスクを交換してください
Pri HDD : OK Sec HDD : OK	ファンが異常です	ファンのプラグが緩んでいないか確認してください
Pri HDD : OK Sec HDD : OK	高温警告表示 (プリセット値は65°C / 149°F)	ファンが正常に作動しているか、周囲温度が65°Cを超えていないか確認してください
Wrong Capacity Pri > Sec	サブハードディスク(Secondary)の容量がメインハードディスク (Primary) より小さいです	サブハードディスク (Secondary) を交換し、容量をメインハードディスクより大きくしてください
Wrong Capacity Sec > Pri	サブハードディスク(Primary)の容量がメインハードディスク (Secondary) より小さいです	サブハードディスク (Primary) を交換し、容量をメインハードディスクより大きくしてください
Source Fail Pri > Sec	自動再構築時に親ディスク (Primary) の異常が発生しました	良い状態の親ディスク (Primary)に交換してください
Source Fail Sec > Pri	自動再構築時に親ディスク(Secondary)の異常が発生しました	良い状態の親ディスク (Secondary)に交換してください
RI: System fail Pri:S Sec:S	2台のハードディスクがともにARAIDで親ディスクとして使用されたことがあります	先に指定する親ディスクを挿入して起動させてから子ディスクを挿入してください
RI: System fail Pri:T Sec:T	2台のハードディスクがともにARAIDでTargetディスクとして使用されたことがあります	先に指定する親ディスクを挿入して起動させてから子ディスクを挿入してください



Status	Description	Action
RI: System fail Code : 0F	2台のハードディスクのRAID構成は一致しません	先に指定する親ディスクを挿入して起動させてから子ディスクを挿入してください
RI: System fail Code : 00	ハードディスクを検出しません	先にハードディスクが正常に作動するかを確認ください。そして、指定する親ディスクを挿入して起動させてから子ディスクを挿入してください
RI: System fail Code : 04	ハードディスクにRAID構成情報を見つけません	先に指定する親ディスクを挿入して起動させてから子ディスクを挿入してください

表8. ARAID LCDメッセージ対照表

※ ARAID 5000は、再構築の過程でハードディスクに不良セクターが見つかった場合、不良セクターを飛ばして再構築を完了させますが、ERRとエラーを液晶上に表示します。

※ ARAID 5000によってFailのハードディスクと判定された場合、ARAIDで使用を続けしないでください。システムが壊れる可能性があります。

VII. FAQ (RAID 1 ユーザー向け)

1. ハードディスク再構築中の電源切断について。

Q: オートリビルドによるハードディスクのRAID構成を再構築中に、UPS（無停電電源装置）がないまま停電が発生したらどのように対処すべきですか？

A: ハードディスク再構築中に停電が発生した場合、パソコンを再起動させてください。自動ハードディスク再構築機能(ARF)が自動的に中断した個所から再構築作業を続けます。PriからSec、またはSecからPriにコピーのどちらの場合も、パソコンへの給電が回復されると自動的に親ディスクが起動して自動的に再構築作業を続けます(パネルのスイッチはDualモードにしておいてください)。

2. ARAID専用のMirror-On-Demand機能を用いたウイルス対策について。

Q: ハードディスクのウイルス感染を防止するにはどうすればいいですか？

A: (1) ディスクアレイのハードディスクがウイルスに感染すると、必ず両方が同時にウイルスに感染します。そのため、ARAIDでは、パネルで直接シングルディスク作業に設定でき、ユーザーがパソコンを使用する時に1台のハードディスクでデータ転送が可能です。入力データに問題がないことを確認してから再構築作業を再開し、2台のハードディスクの内容を同期させます。

(2) Accordance Systemsの日本の多くの顧客企業、台湾電力公司、中華電信、台湾フィリップスなどの顧客およびMISスタッフの経験によると、アンチウイルスの効果を最大限に発揮させるため、1台でも多くのマウントとハードディスクを購入し、一定期間ごとにオフラインバックアップを行うことを強く勧めています。ハードディスクがウイルス感染した場合でも、適切なバックアップハードディスクを選び、短時間で感染していないシステムおよびデータに再構築できます(当社カタログにある親一子一孫の多世代バックアップ機能を実行します)。

※ HDDのSATAコネクタの耐久回数には制限がございます。運用に先立ちHDDメーカーにコネクタの耐久性をご確認ください。


3. ハードディスクの交換またはアップグレードについて。


Q: 1台のハードディスクが故障して新しいハードディスクに交換する時に注意すべきことは何ですか？


A: (1) ハードディスクの交換やその他の理由でハードディスクの取り出しを行う場合、データの完全性を保護するため、できるだけデバイスが停止した状態でハードディスクを取り出してください。デバイスを停止できない場合には、ARAIDのデータ転送が頻繁でない時に行ってください（ハードディスクLEDが点滅していない状態）。デバイスが停止していない状態でハードディスクを取り出すと、以後そのハードディスクを使用する際にWindowsで修正実行の必要性のメッセージが現れることがあります。修正を実行する場合、ハードディスク内部のデータが消失するリスクがあります。



A: (2) 交換するハードディスクが同一シリーズ同一ブランドで容量がより大きなものの場合、完全な元データディスクをPrimaryに挿入してから起動させてください。起動後、新しいディスクをSecondaryに挿入すると、自動ハードディスク再構築機能が自動的に新しいハードディスクを再構築します(開始しない場合、パネルのスイッチを“Single”から“Dual”に切り替えてください。BIOSのHDD TYPEは“AUTO”のままにしておきます)。

 注意：必ず小容量のハードディスクをPrimaryに、大容量のハードディスクをSecondaryに挿入してください。

 注意：本機でSATA I (1.5 Gbps)、SATA II (3 Gbps)、SATA III (6.0 Gbps) のハードディスクの混用をできる限り避けてください。性能に影響を及ぼします。

 注意：ハードディスクを識別するために、マウントパネルにハードディスクブランド/容量/型番を記載したラベルを貼ることをお勧めします。

4. ARAIDと現有のデバイス/OSの互換性について。

Q: ARAID製品の使用時に現有のデバイス/OSと互換性の問題が生じた場合、どう対処すべきですか？

A: 互換性の問題が生じた場合、どのような場合でも当社にご連絡ください。当社が問題の解決にご協力いたします。

5. ハードディスクリビルド中の抜差し及び交換について

Q: HDDリビルド中に、ターゲットディスクの抜差しによる接続パソコンの画面停止はどう処理しますか？

A: ARAID 5000製品はリビルド中にハードディスクが交換されますと60秒間シリアルATAの転送凍結時間が発生してしまいます。

VIII. 製品保証およびアフターサービス

1. 製品保証期間

本体：購入日より1年。

2. 製品が正常に作動しない場合、まずはARAID LCDメッセージ対照表とその対処方法（p. 38）およびFAQ（p.40）を参考にしてください。
3. 製品が正常な使用状況にあり、当社の検査によって人為的な破壊でないと確認された場合、保証期間内に限り、無償で修理させていただきます。
4. 保証期間内であっても以下の状況に該当する場合は修理費用が有料となります：
 - (1) 保証ステッカーが改ざんされたり、不完全な状態、または本体が分解された状態である場合。
 - (2) 購入後に不適切な場所での保管、落下、移動、運送などによって生じた故障。
 - (3) 火災、地震、水害、落雷またはその他天災、不安定な電圧によって生じた損壊。
 - (4) 取扱説明書に記載されている以外の条件における使用により生じた故障または損壊。
5. 保証期間の経過後も修理サービスを行いますが、状況に応じて修理費用および部品代が有料となります。また、製品終息後の修理は承れない場合がございます。予めご了承ください。



IX. 当社連絡先

使用中に生じた問題やその他ご意見がございましたら、以下の/PQRシートに記入後、販売店または、代理店までご返送ください。皆様のご意見をもとに、当社はさらなる改善を図ってまいります。皆様の貴重なご意見をお待ちしております。

番号：_____ 日付：_____

会社または使用機関名：_____ 氏名：_____

製品情報	
Product Name /Model 製品名および型番	
Serial Number シリアルナンバー	
ARAIID Firmware Revision ファームウェアバージョン	
Manufactured/Purchase Date 購入日	
Equipment & Environment 装置および使用環境 (**) 必須記入事項	
PC or Motherboard Brand & Model (**)	
BIOS (**) Phoenix or Award or AMI	
Chipset (**)	
HDD 1 (**) Brand/Model/Series number	
HDD 2 (**) Brand/Model/Series number	
CPU	
RAM	
OS (**) Version of Windows or Linux or...	
Benchmark / Application if available	
Test Procedure & Notification テスト手順および気付いた点	
1	
2	
3	
Symptom 不良症状（詳細にご記入ください）	
1	
2	
3	

表9. PQRシート（製品異常報告書）

© 2023 Copyright Accordance Systems, Inc.

代理店・販売店にご連絡頂く他に、以下の連絡先へ直接ご連絡頂いても結構です。

(英語または、中国語)

専用ダイヤル：+886-2-2726-3239 (受付時間：月～金曜日AM9:00～PM6:00)

FAX番号：+886-2-2728-1322

カスタマーサービスemailアドレス：sales@accordance.com.tw

連絡先住所：郵便番号22154台湾新北市汐止区南陽街258号10F

MEMO



MEMO

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.

MEMO



SATA III RAID 1 Disk Array Subsystem

- ▶ User's Manual
- ▶ マニュアル
- ▶ 中文使用手冊
- ▶ 사용설명서